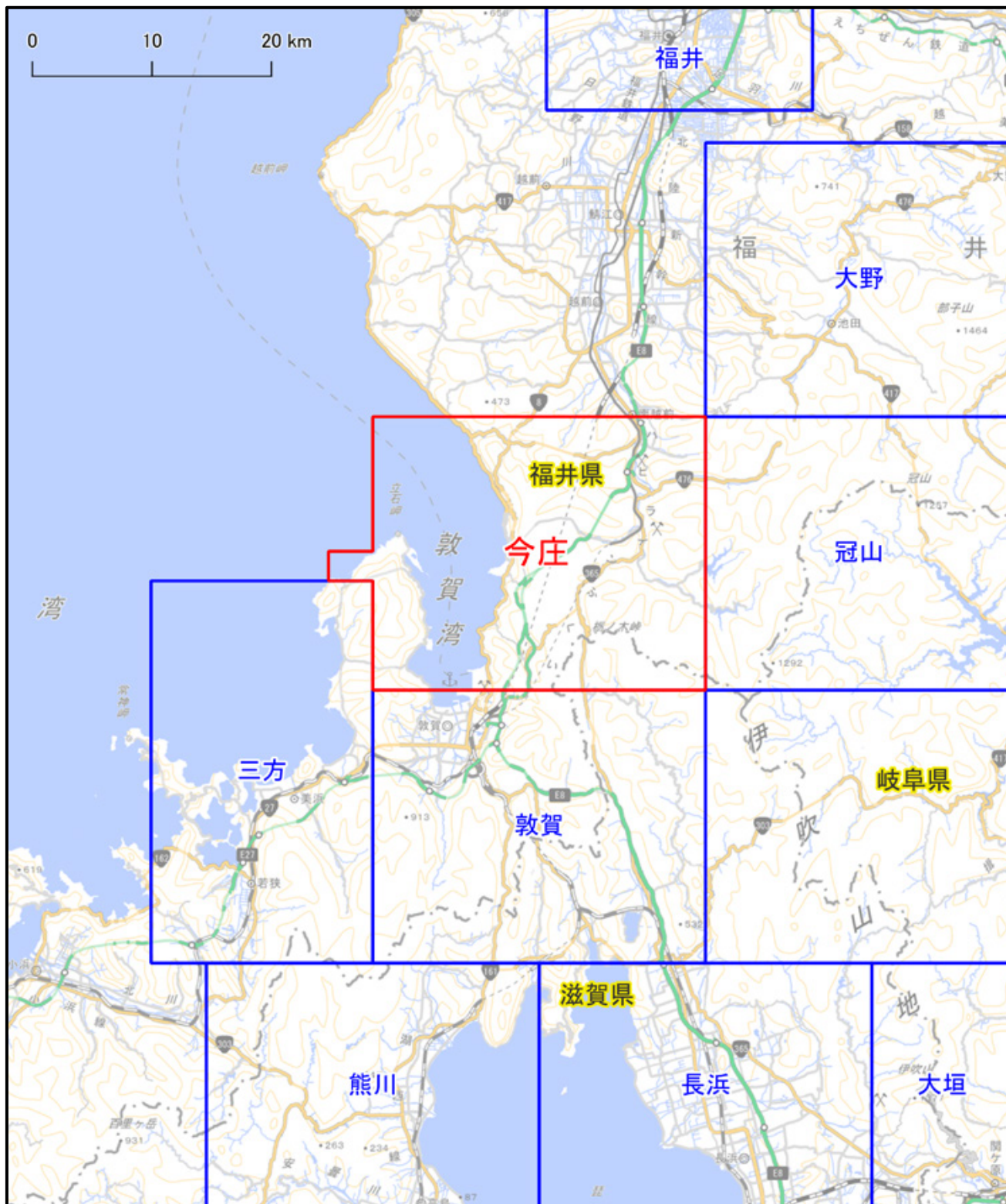


位置図

資料2

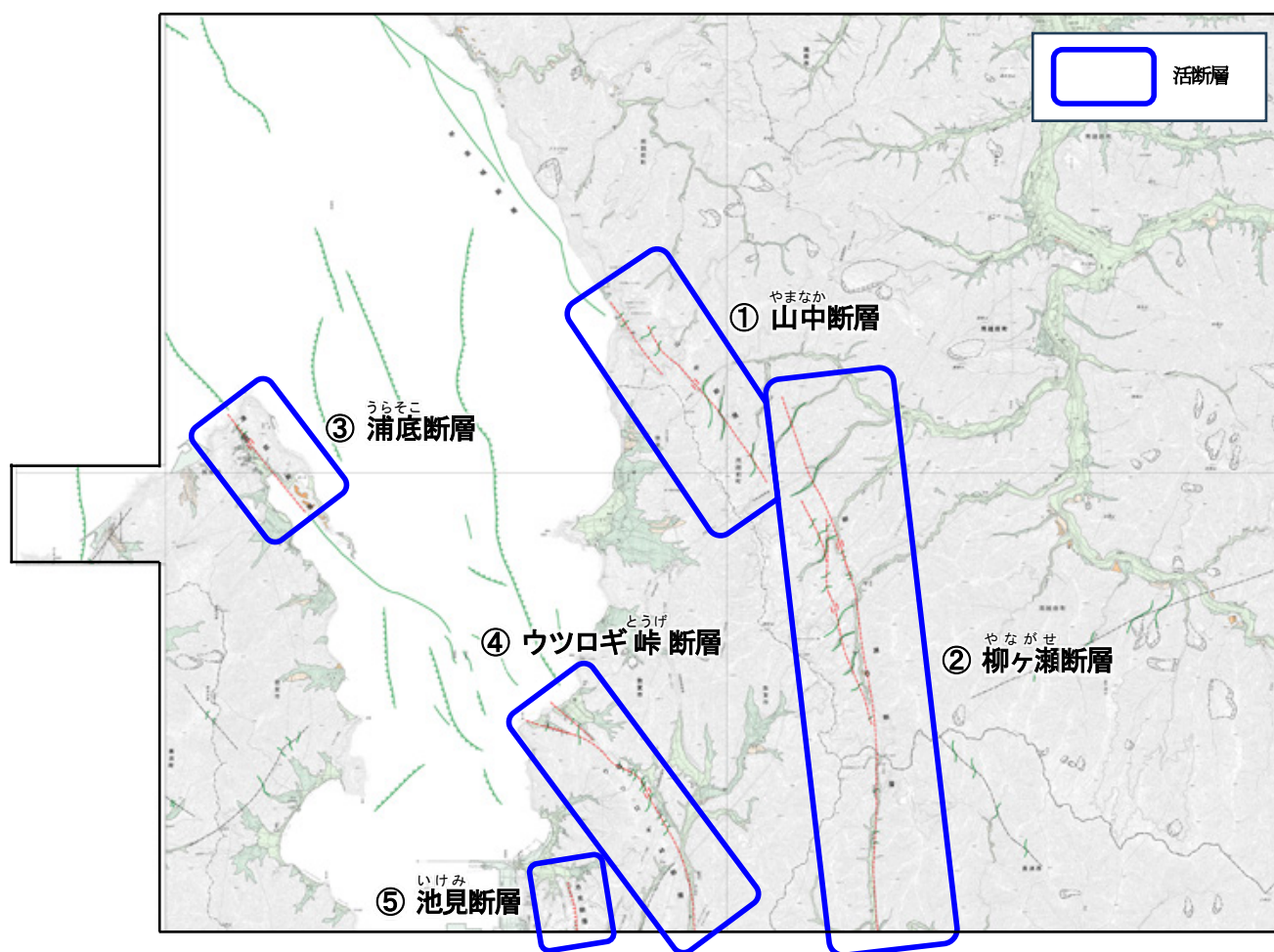
1:25,000 活断層図 柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯及び湖北山地断層帯とその周辺「今庄」



 新たな公開図郭
 公開済図郭

概要

1. 断層索引図 (1:25,000 活断層図 「今庄」)



2. 今回の調査で得られたこと

「今庄」の図には、山^{やま}中^{なか}断層約5km、柳^{やなぎ}ヶ瀬断層約11km、浦^{うら}底^{そこ}断層約3km、ウツロギ^{とうげ} 峠断層約5km、池^{いけ}見断層約1km と、その他の推定活断層を表示しています。（下表の番号は、断層索引図に記載した番号に対応しています。）

番号	断層名	断層について
①	山 ^{やま} 中 ^{なか} 断層	南越前町大谷付近から同町の御所ヶ ^{ごしょがたに} 谷川上流付近まで、左横ずれ [※] の変位を主体とし、北西－南東方向に延びる、長さ約5kmの活断層です。
②	柳 ^{やなぎ} ヶ瀬断層	南越前町の御所ヶ谷川東方から、隣接する「敦賀」に至る活断層です。本図には、左横ずれ [※] の変位を主体とし、北北西－南南東方向に延びる、長さ約11kmの区間が表示されています。
③	浦 ^{うら} 底 ^{そこ} 断層	敦賀市明神町付近を、北西－南東方向に延びる、左横ずれ [※] の変位を主体とする活断層です。本図には、長さ約3kmの区間（陸域）が表示されています。
④	ウツロギ ^{とうげ} 峠断層	敦賀市の松ヶ崎付近から同市瀬河内 ^{うそごうち} 付近を通り、隣接する「敦賀」に至る活断層です。本図には、北西－南東方向に延びる、長さ約5kmの区間が表示されています。左横ずれ [※] の変位を主体とし、一部に縦ずれ [※] の変位を伴っています。
⑤	池 ^{いけ} 見断層	敦賀市田結 ^{た い} 付近から南方向に延び、隣接する「敦賀」に至る活断層です。本図には、縦ずれ [※] の変位を主体とし、敦賀市田結付近から北北西－南南東方向に延びる、長さ約1kmの区間が表示されています。

※ 印は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照